タバコカスミカメの産地間リレーの可能性

表　促成栽培ナスの栽培終期におけるタバコカスミカメの推定発生量（2012）

圃場	A	B	C	D	E
面積（㎡）	1,000	1,600	1,000	1,100	1,400
株数（圃場の総株数）	1,173	1,330	790	985	997
調査日	6月19日	6月19日	6月19日	6月19日	6月26日
株当たりの平均発生量（頭）	70.0	49.9	63.5	18.3	18.9
ほ場当たりの推定発生量（頭）	82,110	66,301	50,165	17,976	18,793

写真　タバコカスミカメ

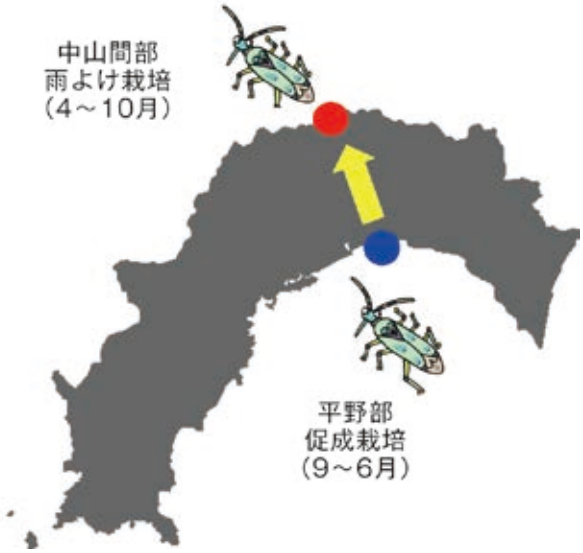

図　タバコカスミカメの産地間リレーのイメージ

タバコカスミカメ（写真）を利用している平野部の促成栽培地域から、本種の利用が検討されている中山間部の雨よけ栽培地域へのリレーの可能性について検討しました。タバコカスミカメを利用している地域の促成栽培ナス５ほ場を対象に、栽培終了時の６月中～下旬に本種の発生量を調べたところ、㎡あたりで13.4～82.1頭（平均40.7頭）、ほ場あたりで約18千～82千頭（平均47千頭）発生していると推測されました（表）。本種の放飼量を２頭/㎡とすると、１㎡あたりで約6.7～41㎡分のタバコカスミカメが確保できることになり、促成栽培地域から雨よけ栽培地域へリレーすることは可能と考えられました（図）。今後はこの結果をもとに、雨よけ栽培地域においても本種の利用を進めたいと考えています。

なお、タバコカスミカメは作物によっては、果実や葉への食害被害を出す恐れがありますので、利用する際には注意してください。また、本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発」の中で実施しました。

（昆虫担当　中石一英　088-863-4915）